広報 おだわら
№485
編集発行　小田原市役所広報課　〒250　小田原市荻窪300番地
昭和63年 6月15日

人口・世帯		（5月1日現在）
人口	189,573人	（前月比＋417人）
世帯	58,817世帯	（前月比＋393世帯）

早川と酒匂川では アユ漁が解禁に

初夏の風物詩アユ釣りが、早川と酒匂川で今月一日に解禁になりました。

この日、夜が明ける前から、早川には二千人、酒匂川には六千人の釣人が集まりました。思い思いの場所で、準備万端整えて、川辺の石に腰を掛け、また、水に腰までつかり、解禁を待ちます。日の出の一時間前が解禁です。時刻になると、みんな一斉に清流に竿を延ばしました。

初日とあって、それぞれの竿には、あちらでもこちらでも次々にアユが掛かり、朝の日ざしを受けて光っていました。

曽我の里では 梅の収穫が

早春にほのかな香りをただよわせていた梅が実を結び、収穫の季節になりました。親梅客でにぎわった広い梅林では、農家の人たちが、みずみずしい緑色の実を一つひとつ摩にもぎとっています。収穫は、梅酒用の日加賀から始まり、梅干し用の十郎、杉田と続きます。

今年は、三月から天候が不順だったので、収穫は豊作だった昨年を下回りそうです。

水無月のころ収穫された「十郎」は、塩漬けされ、梅雨明け後の晴天の下、二日間、日干し・夜干しされ仕上げられます。たるやかめに保存され、秋にはつやのある柔らかいおいしい梅干しが食あがり、みなさんの食卓に上ることでしょう。

梅の実を一つひとつ摩に

火災情報のテレフォンサービス

7月1日から ☎24—0119

消防署では、7月1日から火災の情報をテレフォンサービスで提供します。

テレフォンサービスの番号は☎0119です。このサービスは火災の情報にのみ対、電話が集中したときは、一時的につながらない場合があります。あらかじめ承知おきください。

また、この電話では一般通話はできませんので注意ください。

◆問い合わせ　消防課警備係　☎12251

梅干し用 生梅の即売

21・22日に水の公園で

今年は自分で梅干しをつくってみませんか。

その材料になる梅干し用の生梅の即売会を開催しますので利用ください。

◆日時　6月21日(火)・22日(水)　午前9時～午後3時

◆会場　城址公園内水の公園

◆問い合わせ　農政課　☎14944

梅の実を拾う

振興と消費拡大のために小田原市農業協同組合が行うものです。

即売される品種は、梅干し郎が主です。

これは、小田原梅の生産

新しい地域農業を目指して
梅の里づくり構想まとまる

曽我丘陵の一帯を農業触れ合いの場に

「梅の里づくり」の基本計画がまとまりましたのでお知らせします。これは、市の名産である梅を中心に、梅の名所曽我丘陵一帯の農業を盛んにし、また都会に住む人たちが土に親しめる観光農園を併せて整備しようというものです。農業が曲がり角を迎えている今、この新しい農業を目指した計画に大きな期待が寄せられています。

市の東部の曽我丘陵一帯（曽我、下曽我、田島地区）は、梅ミカンの生産地として有名です。このうち、約三分の一が梅の花が咲く三月上旬から三月末頃かけて観光客が訪れます。ここから望む富士山の眺めはこれも美しく、「神奈川の名所百景」にも選ばれています。

ところで、近年農業従事者の高齢化や、農業過剰な農業を取り巻く環境には厳しいものがあります。しかし、この地区では市営や「梅研究会」を中心に地域の人たちが協力し合い、梅ミカンのイベントや梅の加工品開発など新しい農業を目指してきました。市は、農業を中心とした新たな地域づくりを目指して、総合計画「おだわら百年史ビジョン」で、首都圏の近郊のるとい特性を活かした、都市に住む人たちが心ときめく、梅の里づくりを目指してまとめたものです。

この「梅の里」づくり計画は、梅ミカンを農物を中心に農業と観光を結び、農業を支えている環境の美しさ、人間のつながりの豊かさそれを中心に、農業を通じて、地元の人たちの意向を十分反映させています。

「梅の里づくり」のお問い合わせは、農政課農林係 ☎3494

推進協議会が計画の中心に

このほど、「梅の里づくり」基本計画は、昭和六一年六月に発足した「梅の里づくり推進協議会」が中心となって取りまとめたものです。「梅の里づくり」は、「梅の里」を二つの地域に分ける、梅ミカンの産地である、梅の里地区と、梅の里地区の人たちが行った地元住民アンケートを基に、「梅の里」づくり計画は、梅ミカンの産物を中心に、農業と観光を結び、農業を支えている環境の美しさ、人間のつながりの豊かさそれを中心に、農業を通じて、地元の人たちの意向を十分反映させています。

64年度から事業実施に

今後は、この基本計画に基づき地元のなかで、六年間の施設計画を取まめ、六一四年から具体的な計画を進めていく予定です。「梅の里」実現に向けて市は積極的に取組んでいきます。

農業の振興計画
梅の里ブランドを開発

梅の一大産業地であるためにミカンを梅に転作するとともに、梅の品質向上や販売の強化を図ります。

また、梅、ミカン、キウイフルーツなどを加工し、「梅の里ブランド」とするような特産品開発し、これを試食したり試飲したりすることができる休憩の場やこれらの製品の販売の場が楽しめるような観光農園も整備していきます。

その他に、手軽に手打ちそばなどが楽しめる市民向けの貸農園を整備していきます。

「もぎたて園」では、自転車に乗ってもぎたての梅などを味わうことができます。

また、梅、ミカン、キウイなどが楽しめる市民向けの貸農園を整備していきます。

道路の整備計画
山麓道路や散策道を

梅の里地区の山麓道路は、田島から曽我大沢の間に、曽我丘陵の中腹に向かって一四、一キロ、田島から足柄平野の方へ一、一キロ、浅間山から高山に向かう一、一キロ、浅間山から高山に向かう一、一キロ、浅間山から高山に向かう

小田原スケッチ今むかし③

絵と文・小暮 次郎

山王橋を渡る国府津行き電車

友好の握手で戻せ　北方領土

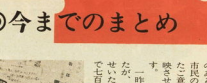
橋の手前は山王松原（国府津行きチンチン電車が山王川を渡ると、その先はわら屋根の続く山王原で、ここからの富士は絶に田舎風情である。相模湾のはるか沖合には白帆が通い、川の左岸は小さい。大正の初期ごろは、橋の下に出たる石船が、いっぱいの荷を満載れたる石船が、当時は、多くの人が出たり、そして、川の流れに、ゴミ、ゴミ、ゴミ、そうと浅を松林が東へ続いていた。

橋の下の右岸に、田島の人家が、ぽつぽつと、その先は、わら屋根の続く山王原で、ここからの富士は絶に田舎風情である。相模湾のはるか沖合には白帆が通い、川の左岸は小さい。大正の初期ごろは、橋の下に出たる石船が、いっぱいの荷を満載れたる石船が、当時は、多くの人が出たり、そして、川の流れに、ゴミ、ゴミ、ゴミ、そうと浅を松林が東へ続いていた。

川の中ほどに、ぽつぽつと

わたしの提案

◎今までのまとめ

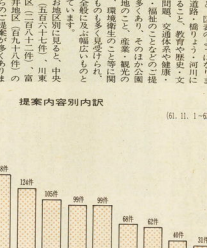


「わたしの提案」は、ほぼ一年間にわたって、小田原のまちをもっと住み良い魅力ある町にしていくために、ただ意見をなんかいただいたり、提案を行なおうと、ということで、昨年十月、始まりましたが、今年三月末までに、お寄せいただいたものは、全部で百五十二通にのぼりました。件数にして千二百六十五件になりました。

これらの内容を項目別に分けると、道路・橋・河川関係、福祉・保健・医療関係、農業・観光関係、商工関係、教育・文化関係、環境衛生関係の順にとなっています。

なお投票用紙見ると、中央地区、五百六十七件、川東地区、三百八十二件、富水地区、百九十八件、の方からの提案がきていました。今後もみなさんからの提案用紙をお待っています。提案用紙をお、市役所総合案内、各支所、連絡所等に置いてあります。

（問い合わせ 広報課広聴係 ☎93-1263）



ぼくの学校 わたしの学校

下曽我小学校 〈35〉

お世話になった校舎の前で楽しく全校ダンス

今年は、私たちの学校が新しく生まれ変わって、いよいよ、六月から新しい校舎の使用が始まりました。そのために五月に春の運動会をみんなで楽しく元気に行いました。

私たちの学校は、梅林に囲まれて、高台にあります。

大正十四年一月十五日学級・生徒数二百五十九人、教員数十六人の小学校として生まれ変わってから、六月から新しい校舎の使用が始まりました。そのために五月に春の運動会をみんなで楽しく元気に行いました。

私たちの学校は、梅林に囲まれて、高台にあります。

絵はがきにもしてもらえるような環境です。梅が咲く時期には、たくさんの人が学校の前を通ります。

梅林は、毎年、二月の中旬から三月の中旬にかけて、大変にぎやかです。

梅の花が、ちょうど、満開になる頃、校庭は、梅の花びらでいっぱいになります。

梅の花びらを、くりあつめ、みんなでの木のまわりを、掃き、集めます。工事が本格的に始まる、前の、秋、八月、校庭は、キュウリ、ナスビ、トマトなどの、野菜が、植えられ、秋、実を生産、収穫できるまで、収かくしたキュウリは、給食にしてきます。自分たちで作ったので、とてもおいしいです。

学校には、パソコンがあります。パソコンは、文章を作ったり、算数や国語などの勉強で使っています。休み時間やクラブの時間にも、それを使ってたくさんプログラムを作っています。夏休みに、パソコンを、学校に、持ってきて、プログラムを作っています。新しい校舎にもパソコンが、入っています。

学校の、教室、プールなどは、みんなで、手伝って、作ったので、とても、楽しかったです。

十月ごろ、はじめて、ビニールの、校舎が、出来ました。

校庭に、体育の日、の、運動会、の、練習、をしました。この、校舎、の、お、お、ぼえ、ています。

現在の北校舎は、造ってあります。

現在の、北校舎は、ゆかには、たくさんの、ふ、穴が、あいています。ゆえは、そこから、入風が、つめたいです。この校舎、は、ゆえ、の、ふ、穴、を、なくす、ために、造ってあります。

校舎の、ゆえ、の、ふ、穴、を、なくす、ために、、、